

令和3年度(2021年度)

管理事業名	安心安全事業				総合計画の体系	大綱 2 政策 2 施策 1	防災・防犯 犯罪を許さないまちづくり 防犯力の向上
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 25	安心安全費
部局名	総務部	予算執行所属	危機管理室				
予算大事業名 安心安全事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)総務費(項)総務管理費(目)一般管理費 一般事務事業						
事業の目的と概要 市の防犯体制の整備や防犯ボランティアの育成・支援、その他危機管理事象の対応・対策を実施し、安心安全にかかわる全ての団体・機関とネットワークを構築し、安心して安全に暮らせるまちづくりを推進します。 【主な事業】 防犯体制の整備 市青色防犯パトロールによる巡回や警察OBの防犯活動推進員による安心安全なまちづくりを推進 防犯ボランティアの育成・支援 吹田防犯協議会や地域の青色防犯パトロール等の活動などに対して支援を実施 防犯環境の整備 防犯カメラの管理運用等、防犯環境を整備することで犯罪抑止効果を高め、防犯力の向上を図ります							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
刑法犯罪認知件数	件	2,113	1,576	1,486	吹田市内の刑法犯の認知件数。警察統計のため暦年(1月から12月まで)の件数
青色防犯パトロール活動団体	団体	13	13	13	吹田市青色防犯パトロール隊も含む
成果の説明	市や警察、防犯協議会、企業、防犯ボランティアなど安心安全にかかわる全ての機関・団体との連携により、令和3年の刑法犯罪の認知件数は1,486件になり、前年より約6%減少しました。ピーク時の平成13年の10,416件からは約86%減り、年々減少傾向にあります。防犯活動は継続して行うことが重要であり、防犯講座など啓発活動や防犯ボランティア支援を行うことで、市民一人ひとりの防犯意識を向上することで、地域の防犯力向上につながり、市民の安心感にもつながります。令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス等感染症拡大防止のため、防犯講座を行うことができませんでしたが、今後は感染状況をみながら、感染対策を講じ、防犯講座を行ってまいります。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	36	29	30	1
経常収入 小計(a)	36	29	30	1
給与関係費	42,934	37,089	36,018	△1,071
物件費	3,836	4,315	4,183	△132
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	5,665	4,745	4,749	4
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	26,850	26,856	26,801	△55
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,635	1,315	1,521	207
退職手当引当金繰入額	639	△4,273	△707	3,566
支払利息	762	544	325	△220
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	83,320	70,591	72,891	2,300
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△83,284	△70,562	△72,860	△2,299
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	1,539	1,584	-	△1,584
特別収入 小計(d)	1,539	1,584	-	△1,584
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	1,507	1,551	-	△1,551
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	1,507	1,551	-	△1,551
特別収支差額(d)-(e)=(f)	32	33	-	△33
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△83,252	△70,529	△72,860	△2,332
一般財源充当額	84,708	77,988	75,001	△2,986
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	1,456	7,459	2,141	△5,318

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	36,018千円(1,071千円減) 職員人件費、会計年度任用職員人件費等
賞与引当金繰入額	1,521千円(207千円増)
退職手当引当金繰入額	△707千円(3,566千円増)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	36	29	30	1
行政サービス活動支出	58,128	51,178	47,996	△3,182
行政サービス活動収支差額	△58,092	△51,148	△47,965	3,183
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	26,616	26,839	27,036	197
財務活動収支差額	△26,616	△26,839	△27,036	△197
収支差額 合計	△84,708	△77,988	△75,001	2,986
一般財源充当額	84,708	77,988	75,001	△2,986
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(財務活動支出) 防犯カメラに係るリース債務返済 27,036千円(197千円増)
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民一人当たりのコスト	令和元年度	373,978 人	223 円	令和4年3月31日現在の吹田市人口で算出すると、市民一人当たり192円のコストがかかっています。給与関係費は減少したものの、退職手当引当金繰入額などの経常経費が前年度より増加したため、コストが増加しています。
	令和2年度	376,944 人	187 円	
	令和3年度	378,781 人	192 円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	
	令和3年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	28,351	19,980	△8,370
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,315	1,521	207
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	27,036	18,459	△8,577
有形固定資産	51,846	25,045	△26,801	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	44,566	23,994	△20,572
建物・工作物	-	-	-	地方債	-	-	-
リース資産	51,846	25,045	△26,801	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	18,786	16,673	△2,113
無形固定資産	-	-	-	リース債務	25,780	7,321	△18,459
インフラ資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	72,916	43,974	△28,942
建物・工作物	-	-	-	純資産	△15,631	△13,490	2,141
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	5,440	5,440	-
投資その他の資産	5,440	5,440	-	出資金	5,440	5,440	-
出資金	5,440	5,440	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	57,286	30,485	△26,801
資産の部合計	57,286	30,485	△26,801	負債及び純資産の部合計	57,286	30,485	△26,801

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

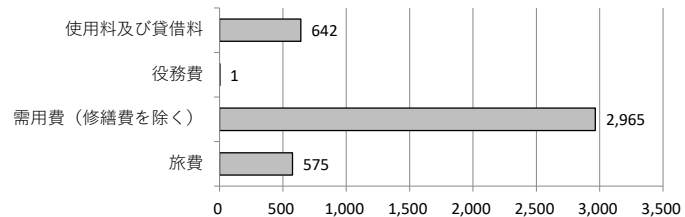
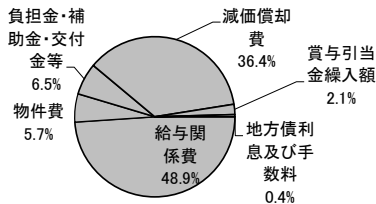
事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事延日数	年間従事延日数	
2,88人	2,88人	1,016日	0日	36,833
給与関係費等	21,257千円	14,055千円	0千円	
内、時間外勤務手当	1,363千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
リース資産	25,045千円(26,801千円の減) 防犯カメラ及び青色防犯パトロール車に係るリース資産
リース債務	7,321千円(18,459千円の減) 防犯カメラ及び青色防犯パトロール車に係るリース債務

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
受益者負担比率	-	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-	-
一般財源充当比率	100.0	100.0	100.0	0.0	

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

【行政コスト計算書】【貸借対照表】

平成30年度までに設置した防犯カメラに係るリース費用支払いにより、リース資産及びリース債務は減少しました。

【経常経費用の構成割合】

市青色防犯パトロール活動や防犯啓発活動、防犯カメラ管理運用業務等に従事する職員の給与関係費が48.9%を占め、次に防犯カメラ等に係る減価償却費が36.4%を占めています。また、地域青色防犯パトロール活動を行う団体や地域防犯活動を行う吹田防犯協議会への事業補助等の負担金・補助金・交付金などが6.5%を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

平成28年度から3か年計画で取り組んだ防犯カメラ設置事業等により、見守りの目を増やしてきました。令和3年度にも、平成28年度に設置した防犯カメラの機器更新及び機器増設を行い、一定の効果が表れていることが見込まれるものの、子どもや女性、高齢者を狙った事案は後を絶たない状況です。令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、防犯講座やキャンペーン等が十分に実施することができませんでした。しかし、「自分の身は自分で守る」ことが重要であることから、市民の防犯意識を高めるために、今後も吹田警察署や吹田防犯協議会と連携して、啓発活動の充実に努めます。さらに、学校区単位での安心安全マップの作成・更新の支援、地域での防犯活動の支援、新規の地域青色防犯パトロール隊の結成支援など、地域の防犯力向上を図りながら、より効果的な事業展開ができるよう努めます。